

事業推進の心 仮設労働安全新生プラン
ACCESS 陽のあたる安全文化の創造
もうよそよ 謙25 機会足場で身並なむあわせ ぬぎよそ 必心して務らせる 必量かな固脚り

ACCESS新聞
Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

Vol. 79
編集・発行人 照井利明
編集所 全国建設安全事業協同組合本部 103-0001
東京 支店 千代田区日本橋小伝馬町 15-18 日本橋Sビル
T 03-3639-6441 F 03-3639-6440
札幌 支店 札幌市中央区南一条西五丁目1-11 札幌Sビル
T 11-2311 F 11-2311
仙台 支店 仙台市青葉区五番丁1-15 仙台Sビル
T 98-5001 F 98-5001
新潟 支店 新潟市中央区南一宮町1-10 2F
T 95-5000 F 95-5000
名古屋 支店 名古屋市中区栄3丁目1-15 栄Sビル
T 52-5000 F 52-5000
大阪 支店 大阪市西区南堀江1丁目1-15 南堀江Sビル
T 66-5000 F 66-5000
福岡 支店 福岡市中央区天神2丁目1-15 天神Sビル
T 92-5000 F 92-5000

官庁営繕の安全・安心、品質確保に邁進

耐震・環境・ストックに注力



「現場の生の声を反映させたい」

首相に救国宣言「建設職人の命を救え」

建設現場で発生する労働災害は、毎年約1000人を超える。そのうち約800人が死亡している。建設現場は、命の危険が常に潜んでいる。この状況を打開するため、建設業界は「現場の生の声を反映させたい」と訴えている。首相に救国宣言を行い、建設職人の命を救えと訴えている。

国土交通省官庁営繕部長 藤田 伊織氏

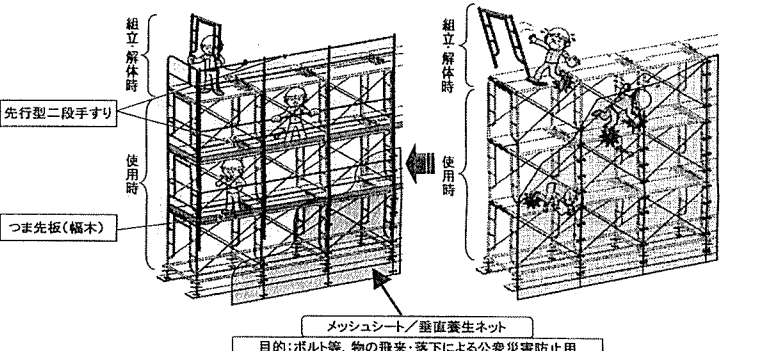
国土交通省官庁営繕部長 藤田 伊織氏は、耐震・環境・ストックの三つの柱を中心に、安全・安心・品質を重視した施設づくりに邁進している。藤田氏は、職人さんの安全・安心を守ることは、官庁営繕部として最も重要な課題だとしている。また、職人さんの声を聞き、現場の状況を把握し、安全対策を講じていく必要があるとしている。



国土交通省官庁営繕部長 藤田 伊織氏

耐震・環境・ストックの三つの柱を中心に、安全・安心・品質を重視した施設づくりに邁進している。藤田氏は、職人さんの安全・安心を守ることは、官庁営繕部として最も重要な課題だとしている。また、職人さんの声を聞き、現場の状況を把握し、安全対策を講じていく必要があるとしている。

19年度統一基準に足場の全段（先行手すり枠）の設置明示



先行二段手すり、つま先板(幅木)の設置

安全点検は時代の流れ、最重要な課題

「美しい国づくり」の基本精神 職人さんの安全・安心を守ることは発注者の責務

建設現場での労働災害は、毎年約1000人を超える。そのうち約800人が死亡している。建設現場は、命の危険が常に潜んでいる。この状況を打開するため、建設業界は「現場の生の声を反映させたい」と訴えている。首相に救国宣言を行い、建設職人の命を救えと訴えている。

建設現場での労働災害は、毎年約1000人を超える。そのうち約800人が死亡している。建設現場は、命の危険が常に潜んでいる。この状況を打開するため、建設業界は「現場の生の声を反映させたい」と訴えている。首相に救国宣言を行い、建設職人の命を救えと訴えている。

建設現場での労働災害は、毎年約1000人を超える。そのうち約800人が死亡している。建設現場は、命の危険が常に潜んでいる。この状況を打開するため、建設業界は「現場の生の声を反映させたい」と訴えている。首相に救国宣言を行い、建設職人の命を救えと訴えている。

全国の自治体土木・国土整備部長 インタビュー4月号からスタート

4月号より、全国の自治体土木・国土整備部長及び国土整備部長に、当組合支部長・支所長が建設事業や安全の取り組みについてインタビューをいたします。原則として1回につき2名掲載予定です。

公共建築工事に「足場の全段には先行手すり枠とつま先板の設置」が標準工法に

足場の全段に先行手すり枠、つま先板(幅木)を設置することを盛り込んだ公共建築積算基準が制定されました。これにより、公共建築工事中では、「動きやすい安心感のある足場」が標準工法になりました。

公共建築工事に「足場の全段には先行手すり枠とつま先板の設置」が標準工法に

足場の全段に先行手すり枠、つま先板(幅木)を設置することを盛り込んだ公共建築積算基準が制定されました。これにより、公共建築工事中では、「動きやすい安心感のある足場」が標準工法になりました。

公共建築工事に「足場の全段には先行手すり枠とつま先板の設置」が標準工法に

足場の全段に先行手すり枠、つま先板(幅木)を設置することを盛り込んだ公共建築積算基準が制定されました。これにより、公共建築工事中では、「動きやすい安心感のある足場」が標準工法になりました。

建設現場での労働災害は、毎年約1000人を超える。そのうち約800人が死亡している。建設現場は、命の危険が常に潜んでいる。この状況を打開するため、建設業界は「現場の生の声を反映させたい」と訴えている。首相に救国宣言を行い、建設職人の命を救えと訴えている。